

# おじいちゃんは水のおいがした

今森光彦作・写真 偕成社

琵琶湖のほとり、豊かな湧き水が生命を育む町がある。  
滋賀県高島市新旭町。この町でばくは、三五郎さんと出会った。六十年以上も、漁をして暮らしてきた三五郎さん。漁には網のしかけを使い、家族が食べるだけの魚を捕る。三五郎さんの家には「かばた」がある。そこに湧く水は、飲み水にもなるし、野菜の洗い場や、小魚が泳ぐ「いけす」にもなる。使った水は、自然の力で生き返る。どこか なつかしい気持ちになる、水辺の町。そこには、自然とともに生きる、人々の知恵が残されている。

